

## 過去最高の74小間 デモ競演

【広島】4回目を数える「ひろしまAI・IoT進化型ロボット展示会」（主催＝ひろしま産業振興機構ほか）が10、11の両日、広島県立産業会館（広島市南区）で開かれた。コロナ禍での開催とあって、会場内参加者（出展者ら）にマスクとフェイスガードの着用が義務付けられたほか、来場者には安全対策として手指の消毒、会場入り口でのサーモカメラによる検温などを実施。万全な安全対策を取った。



インタフェースのデモ



伊東電機のオンラインプレゼンテーション

### 万全な安全対策、カテゴリごとに展示

46社・団体が74小間を出て展示された。山善の共同出展ブースに「出展社数は減ったものの小間数は過去最大」は17社が出展。また、広島（主催者）となった。ロボット／システムインテグレーション、ロボット関連システム・要素技術、IoT/AI関連のカテゴリに分かれ興機構／ひろしまデジタル

伊ノベーションセンター／カーテクノロジー革新センター、World Robot Summitなどがブースを設けた。最も広いブースで出展したインタフェースは、ブース全体にオリジナルのシス

テムをそろえ、OA関連、FA関連などに分けて展示。デジタルサイネージでは大型モニター1台と左右9台ずつ、計19台に画像を流すシステムが人気を集めた。今回、同社の超小型コンピュータが活躍した。國司健代表取締役CEO会長兼社長は「展示しているシステムは全て当社の自作のコンピュータによるシステム」と述べた。

三光電業はUniverSal Robotsの協働ロボットによる作業を演じ来場者の目を引いた。可搬重量3キログラムのUR3e、同5キログラムのUR5e、同10キログラムのUR10e実機によるデモが好評だった。



伊東電機の基幹駆動源のMDR

初出展の伊東電機はMDR（パワーモーター）式仕分け装置のデモンストラーションを披露した。営業本部



三光電業の協働ロボット作業実演

営業管理室の夢野賢治係長は「オンラインで本社工場とも中継を結んでプレゼンテーションを実施した。DCブラシレスモーターを搭載したMDRの普及を促進している」と語った。

FA・ロボットシステムインテグレータ協会（SIEer協会）は会員募集のほか、「ロボットSII基礎講座」「ロボットSII検定」などの活動をアピールした。

併催のWeb見本市「AI・IoT進化型ロボットオンラインEXPO」は引き続き21年1月29日まで公開され、オンライン商談の活性化を図っていく。